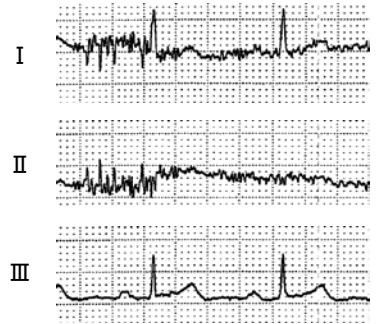


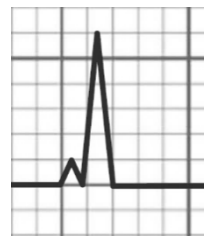
問1. 以下の文章のカッコ内に当てはまる適切な語句および数値を記入しなさい。

- (1) 右手と左手の四肢電極を付け間違えたとき、双極肢誘導で波形が反転するのは()誘導である。
- (2) V1誘導の胸部電極の装着位置は、()肋間胸骨右縁である。
- (3) ある被験者のQRS平均電気軸は+153度であった。この電気軸は、()偏位である。
- (4) 心電図記録中に被験者が左右いずれかの手を動かした際、図①のような記録(双極肢誘導)が観察された。動かしたのは()手である。
- (5) 心拍数が75回/分のとき、平均RR時間は()秒である。
- (6) 感度10mm/mV, 紙送り速度25mm/secの設定で、図②のQRS波形が見られた(最小目盛: 1mm)。このQRS波形のパターンは()であり、QRS時間は()秒である。
- (7) 安静時に比べて、呼息時のRR時間は()なり、心拍数は()する。
- (8) 心軸の回転を調べるには、胸部誘導でR波とS波の高さが等しくなる()を探す。
- (9) P波は、()の興奮に対応する。

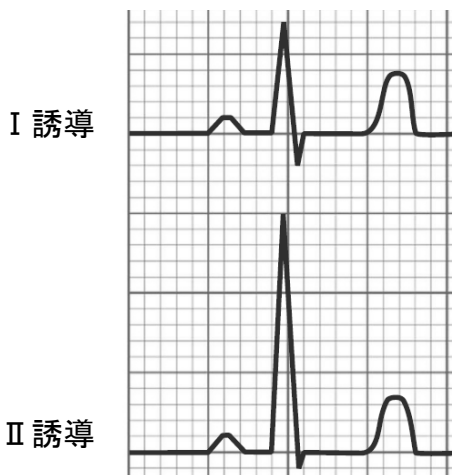
図①



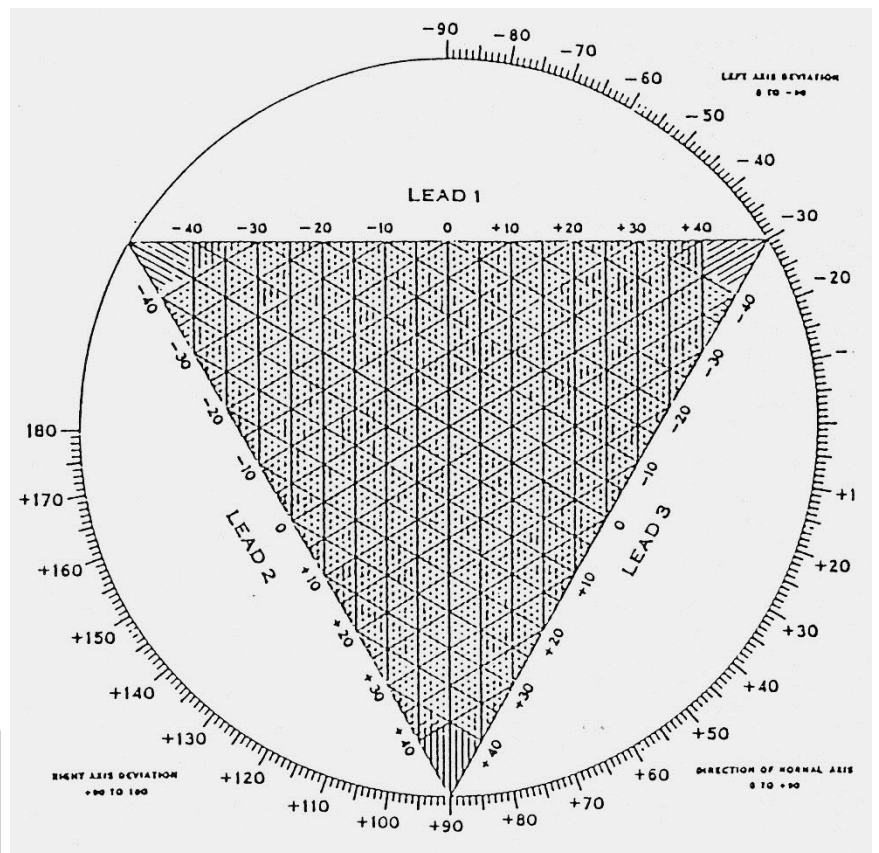
図②



問2. ある被験者から下図のような心電図波形(双極肢誘導)が得られた(紙送り速度:25mm/sec. 最小目盛:1mm)。以下の問いに答えなさい。



注: 最小目盛1mmを用いて、計測・作図を行うこと



- (1) 被験者のPQ(PR)時間は()秒, QT時間は()秒である。
- (2) アイントーベンの正三角形法で求めた被験者のQRS平均電気軸は()度である(符号は必須)。
 ※なお、作図に用いた計算、数値、補助線は全て残しておくこと。